

おねえさんの

図書^{トシヨ}カツ

著者..春巻クリスティン

ADULTS
ONLY
R-18
成人限定

登場人物



雪森 麻衣(ゆきもり まい)

図書館に通うおねえさん
海外のすごい大学を卒業している帰国子女
想像していたよりも住みにくい海外より、地元のほうが居心地が良く
めちゃくちゃ好きだったことに気付いて戻ってきた

意思が強く賢い女性だが、己の内なる欲望をまだあまり意識できていない



猫(ねこ)

ニャーと鳴く。いつもおなかをすかせている
人語を理解し喋るが、野良猫としてつましく暮らしている
とある研究所から漏洩した機密ナノマシンの突然変異により、人類を遥かに
超越した高度な超知能と次元を移動する異能を獲得したふつうの猫

律儀なので食べ物をくれる人間にはこっそり不思議な恩返しをしてくれる



女の子たち(おんなのこたち)

かわいい



『俺』さん

人生を諦観し、ちょっぴり無気力になってしまっている

ノラ猫にエサをあげたりすることに生きがいを見出そうとしている
そうは言ってもカワイイおねえさんをみかけると肉体のモンスターが
大暴れでカチンコチンバッキバキ状態の前かがみである



数週間前—

俺のスマホにいつのまにか
妙なアプリがインストール
されていた

それは、ネットの都市伝説で
まことしやかに存在が囁かれて
いる

《ナノハック》アプリ
と同じものにみえた

いまや疫病対策の名目で
ほぼ全ての人間の体内に
ナノマシンが注入されている

行動履歴や病歴、資産
交友関係、健康状態—

全ての個人情報がこの
ナノマシンを介して
管理されていた

それが世界の常識だ

ウワサの操作アプリはヒトの
体内に注入されたナノマシン
ネットワークに干渉し

管理権限をハックする

これにより対象の人間の言動や
記憶まで操作可能なのだ
—とされていたが

高度に発達したテクノロジー
において、嚴重なセキュリティを
突破することは

国の機密組織が莫大なコストを
かけなければ到底、不可能と
されているため

鼻で笑われる眉唾モノな
ウワサだった

このアプリも、そんなウワサを
模した愉快犯だろうと思い
何度も削除を試みた

が—

消しても、初期化しても
端末を変更しても
このアプリは復活してくる

うす気味悪さと同時に
抗えない興味と好奇心を
覚えた俺は

街の適当な人間に
そのアプリを試してみる
ことにした

そして

どしたん？

ウケル—

ちよま…！

カラダが
勝手に…！

驚くことに、実際にその相手を
思うままに操作できることを
確認できてしまったのだ…！

このアプリはホンモノで
他人を思い通りに操作できる—

とはいえ

このチカラで権力を手に入れる
だとか、そんな煩わしいものに
微塵も興味を持てなかった俺は

今日は
これだけか？

…まア、いい

スミマセン

他に有益な活用方法を
思いつくこともなく

無気力な日々を
過ごしていた

そして、ある日—

彼女がそこにいた

俺は自分の指がスマホのアプリを操作するさまを

他人の指のように眺めていた

雪森麻衣 24歳

結構イイ大学出てんだ

名： 雪森 麻衣 (ゆきもり まい)
性別： 女性
年齢： 24歳

… — 心身操作の設定 —
【性交同意】 積極的に同意
【操作への抵抗】 最弱
【身体操作範囲】 全て
【精神服従】 なし

【禁止行為】
操作の主導者が不利になる行為すべて

…この設定でいけるかな

ボロボロ

雪森麻衣さん

キミ、俺とセックスしたいんだよね？

…!?

セッ…え、なに？

聞き間違い…だよね？
今の

はい

わたしはあなたに抱いて欲しいです

…え…あ…
え!?

わたし
いま何を!?

あーマジか
いま？

こんな
ところで？

はい、わたし
あなたのことが
大好きなので…

こんなところで急に
セックスがしたくて
セックス…したくて

は…
ガマン
我慢できないの？

しょうがないな

キミがそんなに
してほしいって
懇願するなんて

わかった
キミの望み通りに
してあげるよ

動け…ない…!?

…っ!?



今日もイイにおい
だね麻衣さん

シンシン

むぎやう

いつも残り香が
臭げなかったん
だよなア

スハ
スハ

ひあう...ッ!!

ひ...ッ

ク...ッ

や...ッ
あ...ッ

ああア〜…!

これが麻衣さんの
生おしり…!

ブルッ

お手入れされた
きめ細やかなお肌…!

新鮮な桃みたいに
イ〜イ香りだア〜…!

ズンズン

ズン

!?

こ、声が…!

助け呼べない…!?

ひ……あ…ツ

まわりに気付かれない
うちに頂きましょうねー

ズンズン

や、ウソ…!

なんで…ツ!?

ブルッ

な、なんで!?

ブルッ

ズンズン



…お

麻衣さん

ぱちゃん

ん…っ!

アプリの指示に抵抗して
脚をとじようと
してる…?

ん…っ!

見かけによらず
相当に意志力がつよいな

でも、麻衣さん

んあっ?

あっ!?

!?

そんなふう
に力んで脚
とじたら

膣もグイグイ
締まってきて

俺も麻衣さん

さつきよりよけいに
きもちよくなっちゃう
んだよねあ…!

あうんっ





だ、誰か...あ!

...やあつ!

なんの音...?

んう...っ!

アあああツ
麻衣さん...ツ!
麻衣さん...ツ!

あつ

は...っ!

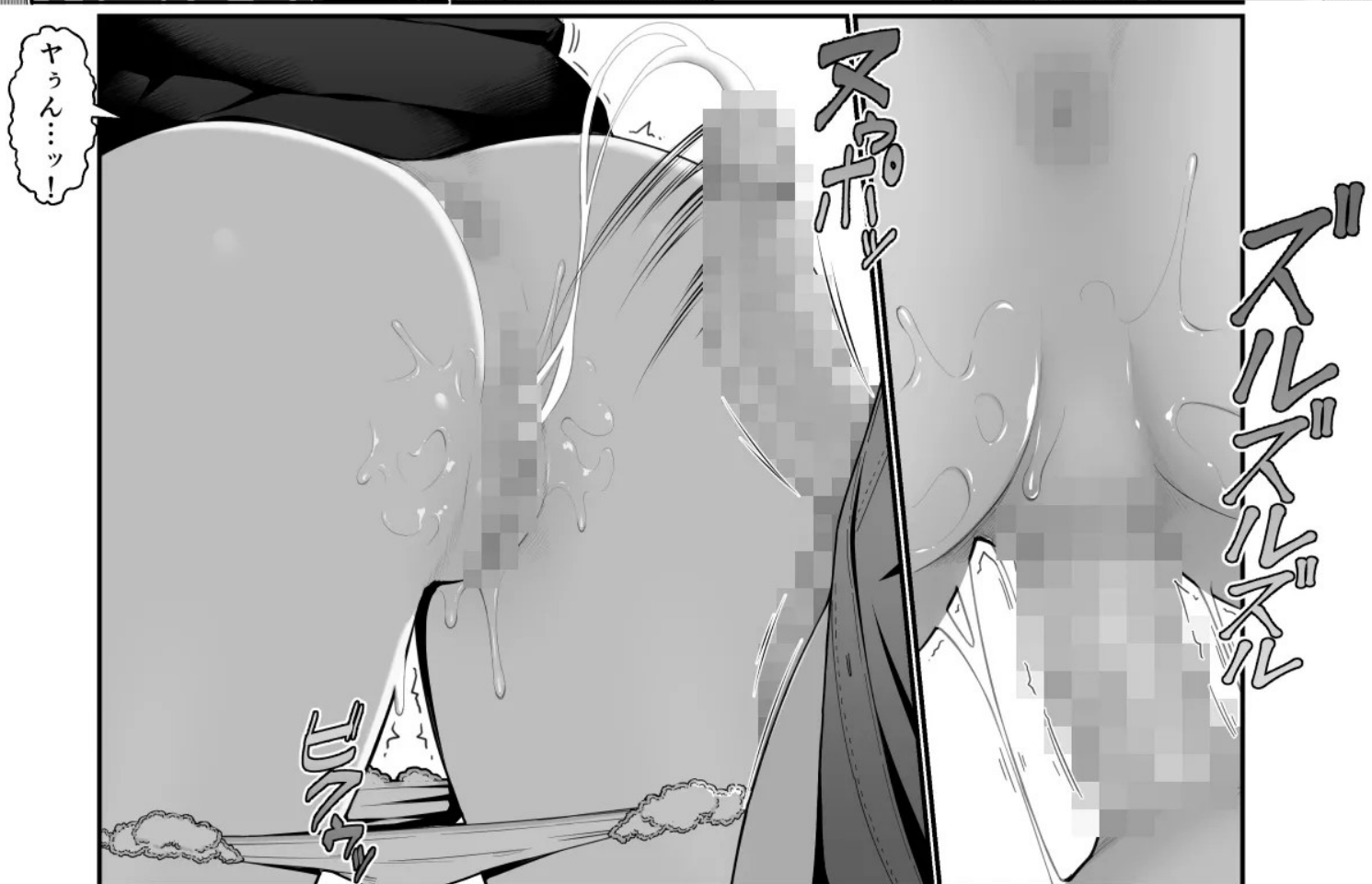
あうん...っ!

あれ?

なんか...急に
ムラムラしてきたあ

このニオイ
なんだっけ...?





こういう時の
べんり機能
とかあったな

この結界ので
いいか

【人払いの結界モード】

他者に対して、指定範囲内のエリアまたは
指定の施設への侵入を禁止します
既に範囲内にいる人物を退去させます



— 詳細設定 —

【退去対象外】 警察 麻衣

ポーン

たしかー

いまのはさすがに
気付かれるか

すわ

さっきから
へんな音が…

すわ

今の声なに？

ゾロゾロ

スゲーな…

おー、みんな
退出していく

スダ
スダ

ポォー



カワイイ鳴き声を
聞かせてもらえるね

さてと

これで心置きなく

麻衣さん

ついでに麻衣さんの操作も
一時解除してみようー

あ…
はあ

はあ

…や、や…あ…

はあ

産まれたままのキミは
どんな反応をみせて
くれるのかな

いつも清楚で
綺麗な麻衣さん……!

あの麻衣さんが身体
ビクビクさせながら

やんっ♡
あっ

あうんっ♡

股の間でオトコの
ち○ぽ咥えこんで

ヌルヌルま○こ
きゅうきゅう締めながら
舌を絡めてきてる……!

くろくろ

ポ

ズ

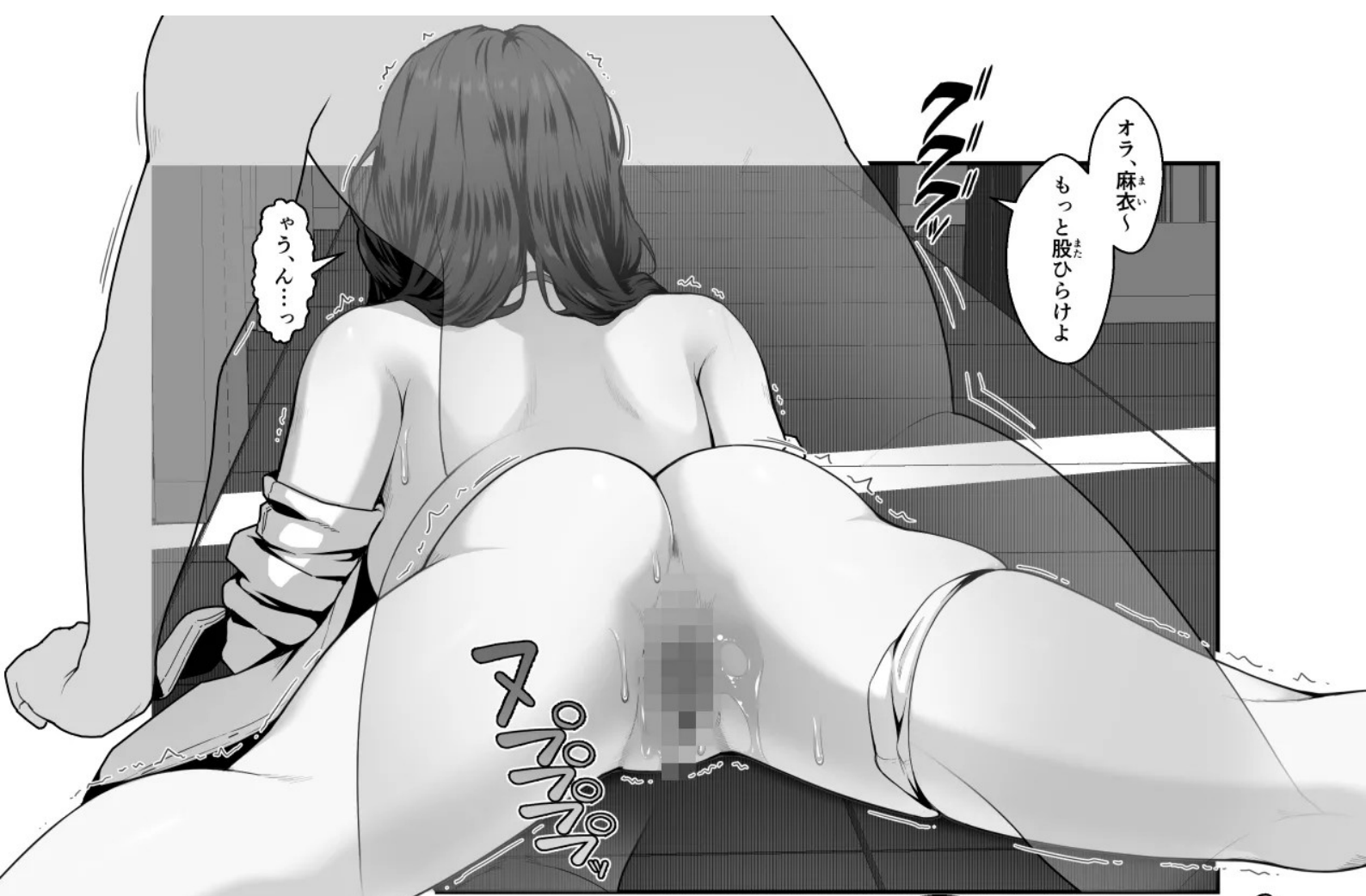
んっ♡
ふ

……ッ!

……んんん……ッ!

ふっ

ん





イク♡
♡イク♡

あ♡

イク♡
♡イク♡

はるるん

ぶるん

ぬる

ぬる

麻衣 イイ...ツ!!

オアアアアアッ!
麻衣 イ...ツ!

ズ

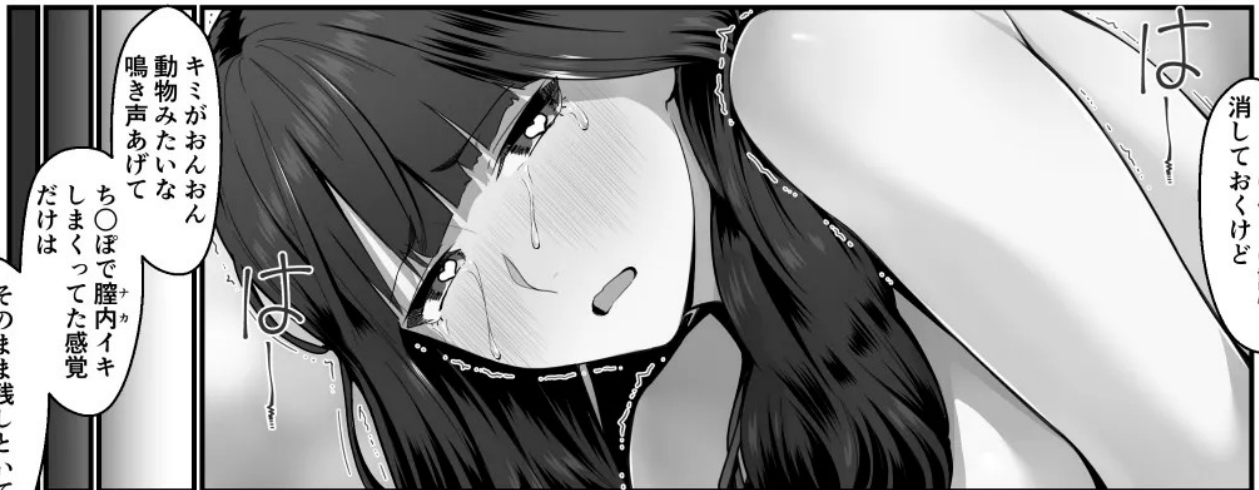
ズ





行動指示ー
『まいにち図書館に
通って俺に会う』と

これから毎日
タップリ溢れるまで
膣内射精してあげる
からね、麻衣さん

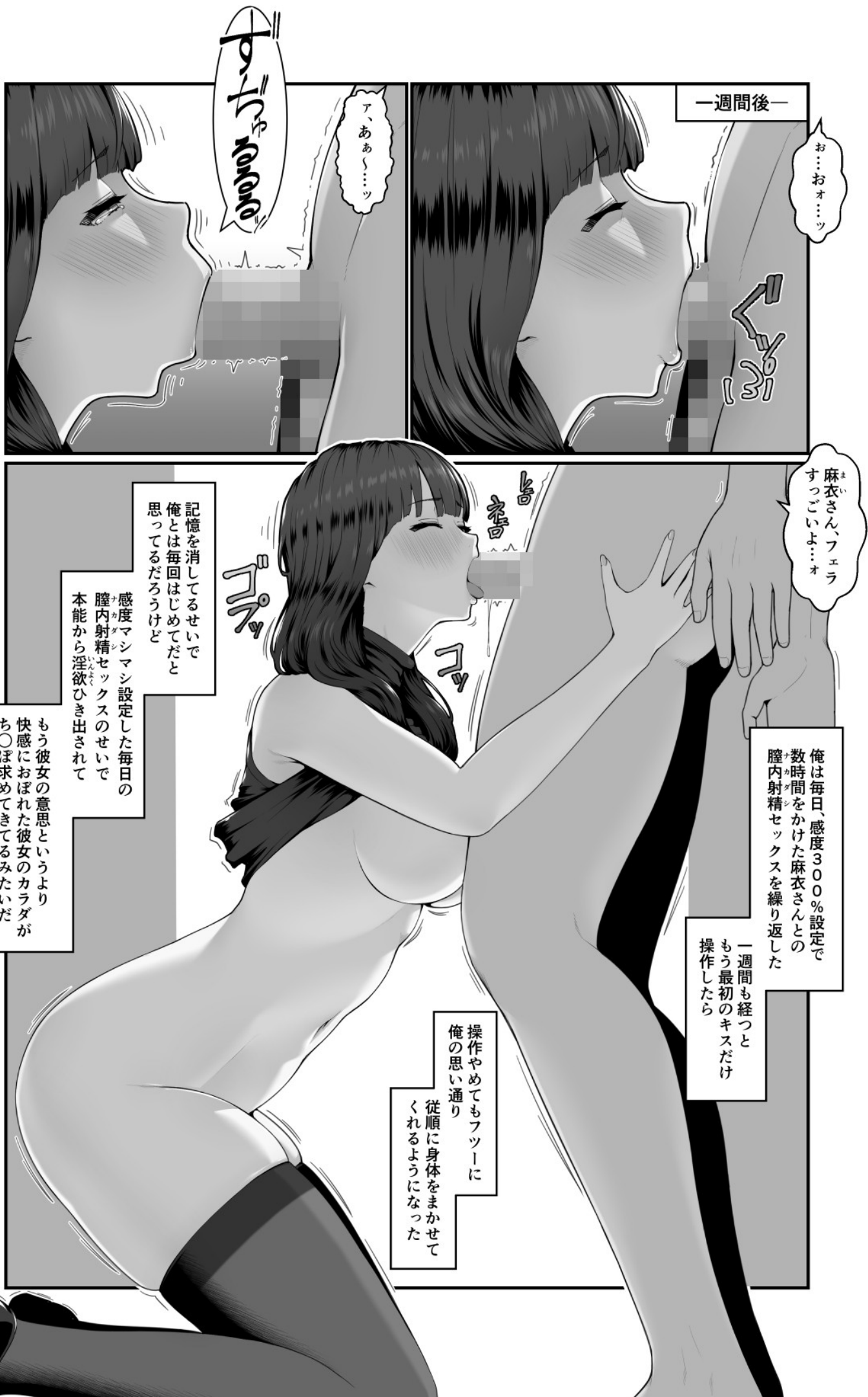


ああ
ここでの俺との記憶は
消しておくけど

キミがおんおん
動物みたいな
鳴き声あげて

ち○ぽで膣内イキ
しまくってた感覚
だけは

そのまま残しといて
あげるからねー



一週間後—

お…おオ…ツ

ア、ああ…ツ

お…おオ…ツ

麻衣さん、フエラ
すっごいよ…オ

俺は毎日、感度300%設定で
数時間かけた麻衣さんとの
膣内射精セックスを繰り返した

一週間も経つと
もう最初のキスだけ
操作したら

操作やめてもフツーに
俺の思い通り

従順に身体をまかせて
くれるようになった

記憶を消してるせいで
俺とは毎回はじめてだと
思ってるだろうけど

感度マシマシ設定した毎日の
膣内射精セックスのせいで
本能から淫欲ひき出されて

もう彼女の意思というより
快感におぼれた彼女のカラダが
ち○ぽ求めてきてるみたいだ

他の連中の前では
清楚で可憐な淑女の
麻衣さんが

ビュッ
ビュッ
ビュッ

俺の前では

ぬちゃあ

犯されてるのを
くやしそうに
認識しながらも

自ら激しく腰を振り
淫らに求めてくる――

あっ

きもちい……

あっ

んああっ

あっ
あっ

おま○こお……っ！

おま○こ
またイッちゃ……ッ！

やああああん……ッ！

あぶなっかしいんでもう
俺以外には反応しないよう
設定しておこう……

ズッ
ズッ
ズッ



二週間後—

—こんにちは

本、好きなんです

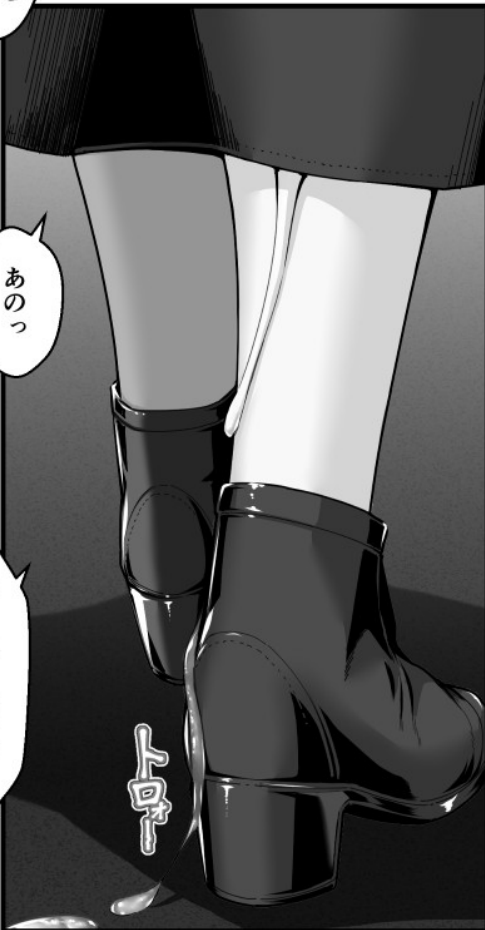


【雪森 麻衣さんの性交履歴】

		(今日)
膣内射精：	24回	+3
精飲：	8回	+1
絶頂：	33回	+5
失神：	1回	+0

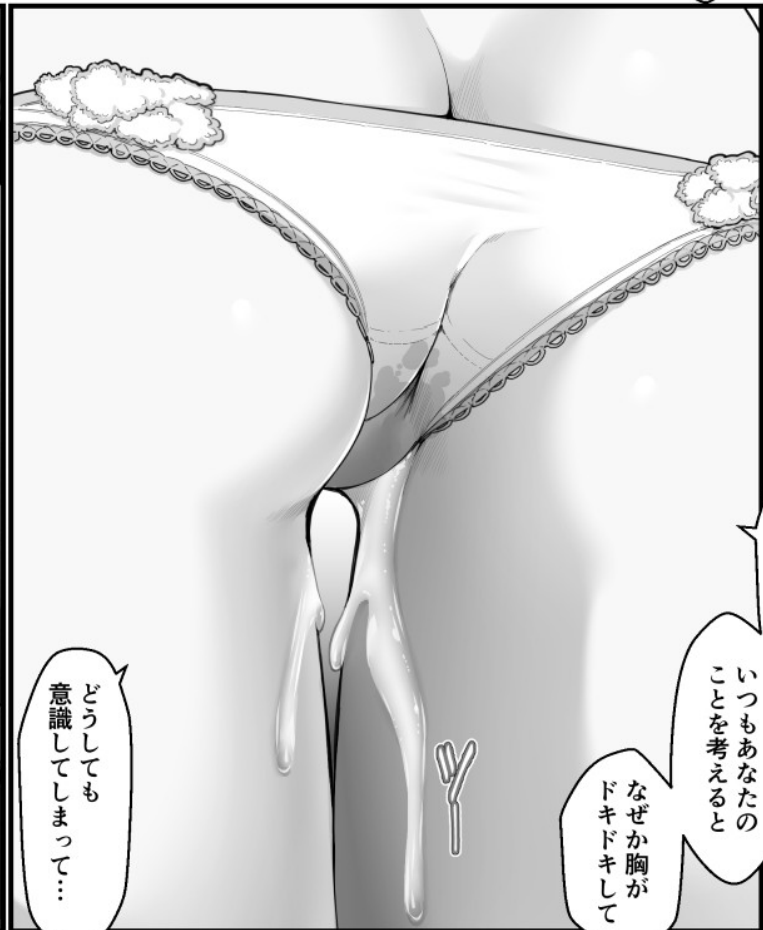
あ、すみません
いつもここで
お見かけしていま
すから、つい

あなたはわたしのこ
となんて知らないの
に
急に声をかけられ
たら
びっくりしちゃい
ますよね？



あのっ

も、もし、よかつたら
わたしと—



そ、その—わたし

いつもあなたの
ことを考えると

なぜか胸が
ドキドキして

どうしても
意識してしまっ
て…









ここからは

本の読み過ぎでちょっぴり

視力がおちてしまったおねえさんの

眼鏡着用差分世界線の様子

※おねえさんの心の声が多め※



数週間前—

俺のスマホにいつのまにか
妙なアプリがインストール
されていた

それは、ネットの都市伝説で
まことしやかに存在が囁かれて
いる

《ナノハック》アプリ
と同じものにみえた

いまや疫病対策の名目で
ほぼ全ての人間の体内に
ナノマシンが注入されている

行動履歴や病歴、資産
交友関係、健康状態—

全ての個人情報がこの
ナノマシンを介して
管理されていた

それが世界の常識だ

ウワサの操作アプリはヒトの
体内に注入されたナノマシン
ネットワークに干渉し

管理権限をハックする

これにより対象の人間の言動や
記憶まで操作可能なのだ
—とされていたが

高度に発達したテクノロジー
において、厳重なセキュリティを
突破することは

国の機密組織が莫大なコストを
かけなければ到底、不可能と
されているため

鼻で笑われる眉唾モノな
ウワサだった

このアプリも、そんなウワサを
模した愉快犯だろうと思い
何度も削除を試みた

が—

消しても、初期化しても
端末を変更しても
このアプリは復活してくる

うす気味悪さと同時に
抗えない興味と好奇心を
覚えた俺は

街の適当な人間に
そのアプリを試してみる
ことにした

そして

どしたん？

ウケル—

ちよま…！

カラダが
勝手に…！

驚くことに、実際にその相手を
思うままに操作できることを
確認できてしまったのだ…！

このアプリはホンモノで
他人を思い通りに操作できる—

とはいえ

このチカラで権力を手に入れる
だとか、そんな煩わしいものに
微塵も興味を持てなかった俺は

今日は
これだけか？

…まあ、いい

スミマセン

他に有益な活用方法を
思いつくこともなく

無気力な日々を
過ごしていた

そして、ある日—

彼女がそこにいた

俺は自分の指がスマホのアプリを操作するさまを

他人の指のように眺めていた

雪森麻衣 24歳

結構イイ大学出てんだ

名： 雪森 麻衣 (ゆきもり まい)
別： 女性
年齢： 24歳

… — 心身操作の設定 —
【性交同意】 積極的に同意
【操作への抵抗】 最弱
【身体操作範囲】 全て
【精神服従】 なし

【禁止行為】
操作の主導者が不利になる行為すべて

…この設定でいけるかな

ホントか

雪森麻衣さん

キミ、俺とセックスしたいんだよね？

…!?

セッ…え、なに？

聞き間違い…だよな？
今の

はい

わたしはあなたに抱いて欲しいです

…え…あ…
え!?

わたし
いま何を!?

あーマジか
いま？

こんな
ところで？

はい、わたし
あなたのことが
大好きなので…

こんなところで急に
セックスがしたくて

は…
ガマン

我慢できないの？
しょうがないな

キミがそんなに
してほしいって
懇願するなんて

わかった
キミの望み通りに
してあげるよ

動け…ない…!?

…っ!?



ああア〜…!

これが麻衣さんの
生おしり…!

ブルッ

お手入れされた
きめ細やかなお肌…!

新鮮な桃みたいに
イ〜イ香りだア〜…!

ハズン

ハズン

!!?

こ、声が…!

助け呼べない…!?

ひ…あ…ッ

まわりに気付かれない
うちに頂きましょうねー

アイッ

や、ウソ…!

なんで…ッ!?

ブルッ

な、なんで!?

ブルッ

アッ





はちゃん
ん…っ!

抵抗…!

抵抗…
しなきや…!

ん…っ!

両脚を…閉じて…!
下半身…下腹部にも
力を込めて

少しでも…
抵抗…を…!

!?

はつきより
快感…!?

やつ

あつ奥…!

擦れてきもち…いっ

あうんっ

やあん
なんで…!

えっ

えっ

んあっ?

あっ!?

ぶるん



だ、誰か…あ！

…やあつ！

んう…っ！

…？
なんの音…？

アあああッ
麻衣さん…ッ！
麻衣さん…ッ！

あつ

は…っ！

あうん…っ！

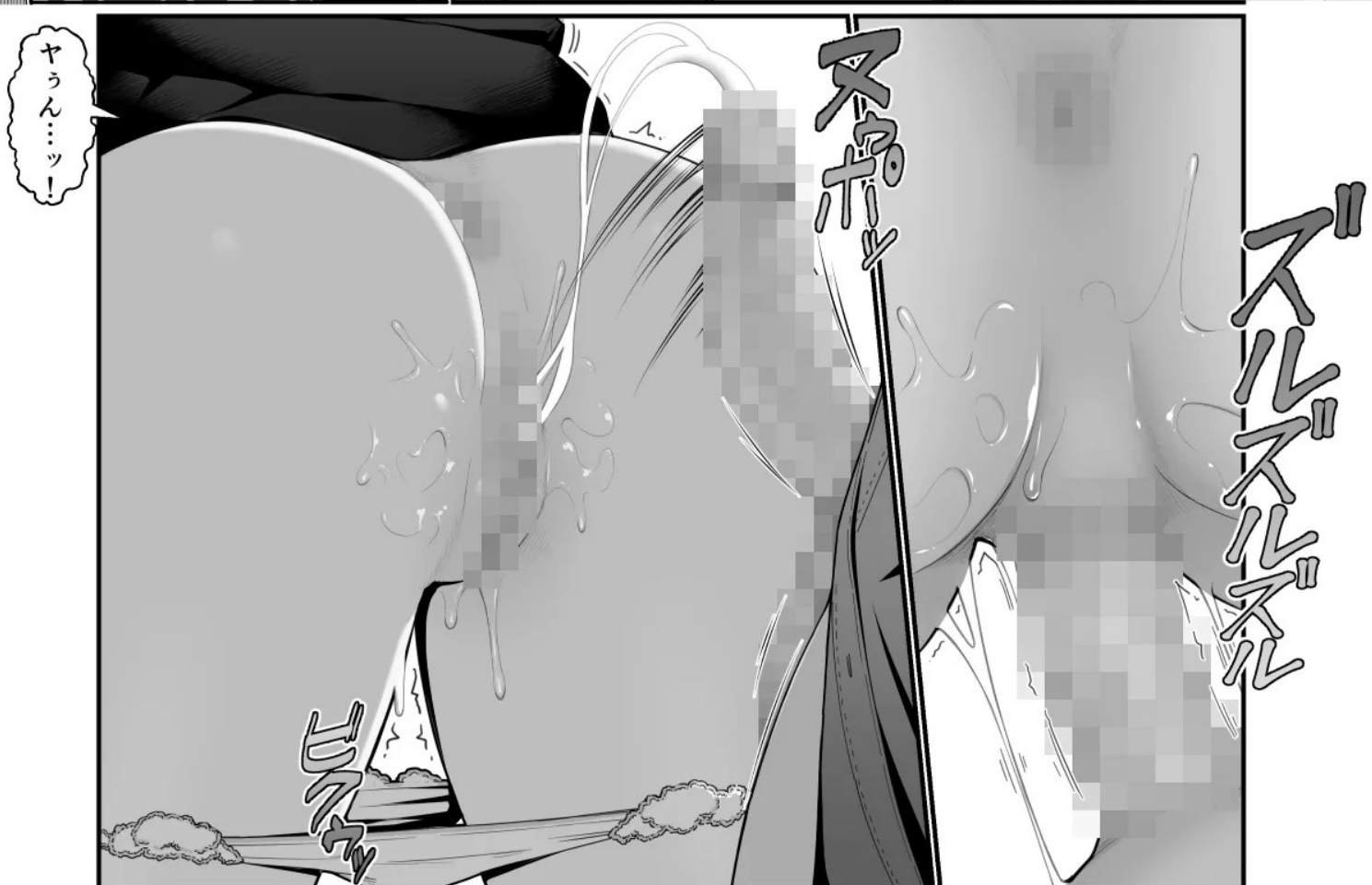
あれ？

なんか…急に
ムラムラしてきたあ

このニオイ
なんだっけ…？







こういう時の
べんり機能
とかあったな

この結界ので
いいか

【人払いの結界モード】

他者に対して、指定範囲内のエリアまたは
指定の施設への侵入を禁止します
既に範囲内にいる人物を退去させます



— 詳細設定 —

【退去対象外】 警察 麻衣

ポーン

たしかー

いまのはさすがに
気付かれるか

すわ

さっきから
へんな音が…

すわ

今の声なに？

ボンボン

スゲーな…

おー、みんな
退出していく

スタスタ

ポーン



はあ

あ…

はあ

そんなわけない…っ

そんなわけ

膣内に…射精され
…た…？

わたしの…
おなかに…精液？

…や、や…あ…

そ、そんな…こと
あるわけ…

はあ

…ない

言ってるだけ…







突き上げの
いきおい

カラダの
奥まで...!

やんっ♡
あっ

あうんっ♡

スゴ...い...
よおお...!



気持ち...っ

良いよ...お...

くろくろ

ポ...

もお、なに...
してるのかー

わかん...ない

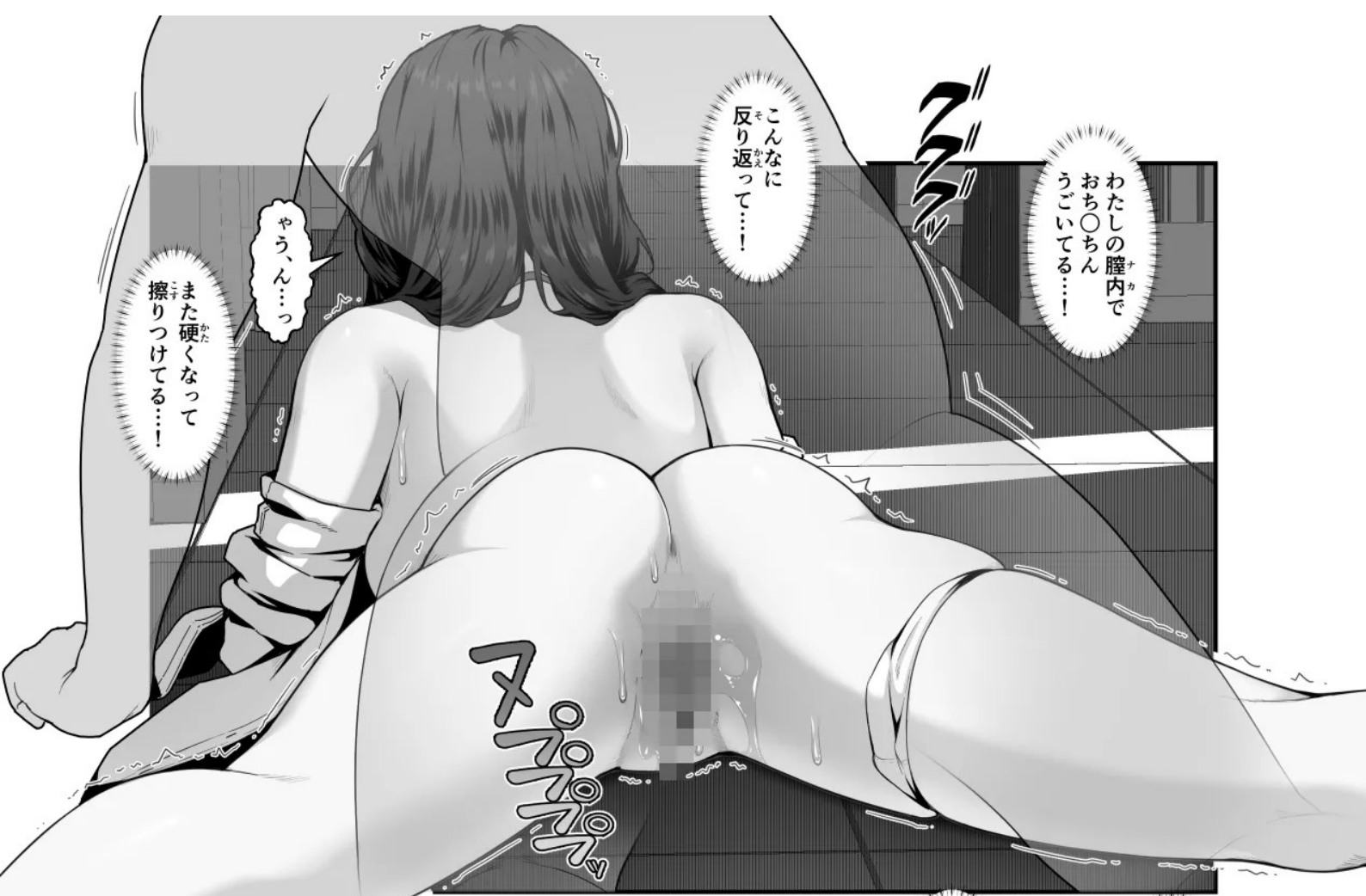
ん

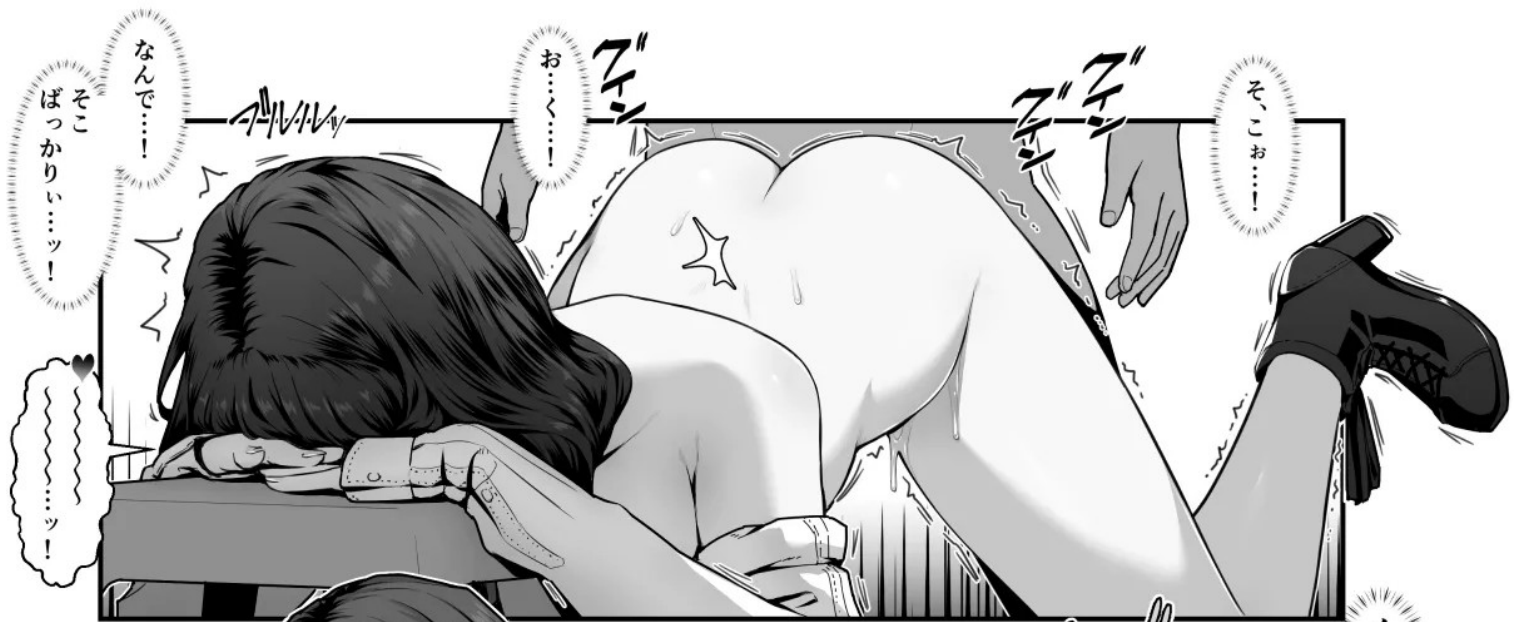
ふっ

...んん...ッ!

.....ッ!

ん...っふ







イッ
ッ
ッ
ッ

あ

イッ
ッ
ッ
ッ

はるるん

ぶるん

ズ

ズ

ぬ

ぬ

麻衣 イイ...ツ!!

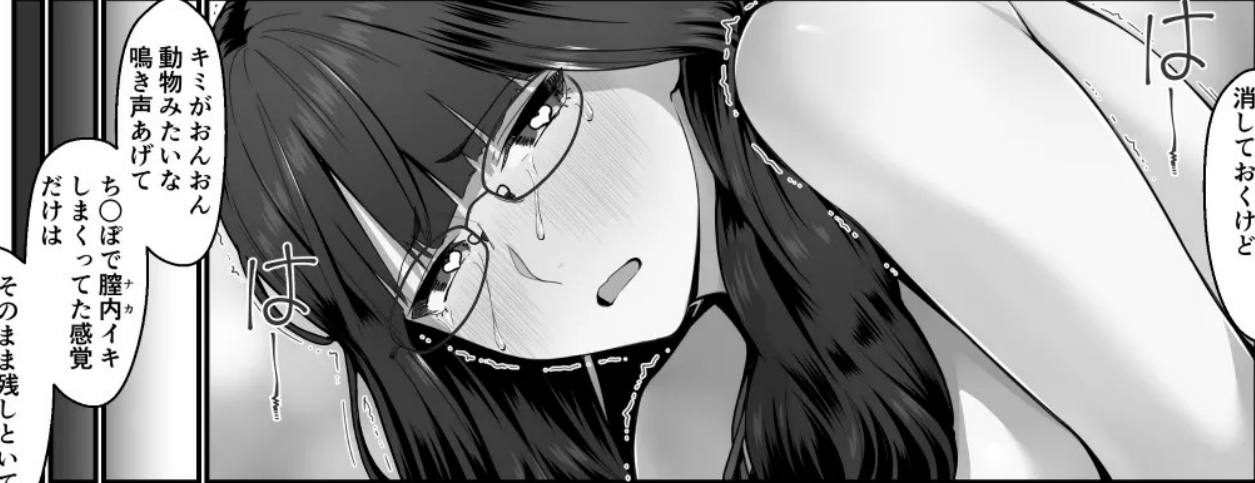
オアアアアアッ!
麻衣 イ...ツ!





行動指示—
『まいにち図書館に
通って俺に会う』と

これから毎日
タップリ溢れるまで
膣内射精してあげる
からね、麻衣さん

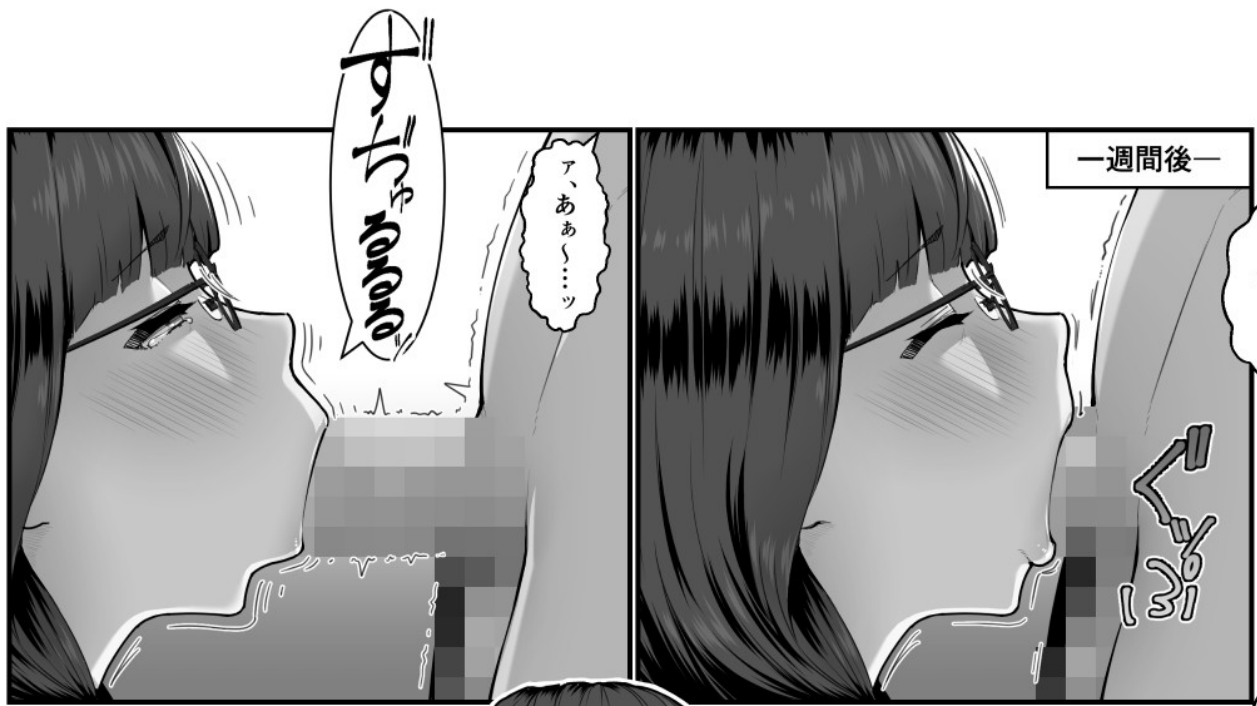


ああ
ここでの俺との記憶は
消しておくけど

キミがおんおん
動物みたいな
鳴き声あげて

ち○ぽで膣内イキ
しまくった感覚
だけは

そのまま残しといて
あげるからね—



一週間後—

お...おオ...ッ



麻衣さん、フエラ
すっごいよ...オ

俺は毎日、感度300%設定で
数時間をかけた麻衣さんとの
腔内射精セックスを繰り返した

一週間も経つと
もう最初のキスだけ
操作したら

操作やめてもフツに
俺の思い通り

従順に身体をまかせて
くれるようになった

記憶を消してるせいで
俺とは毎回はじめてだと
思ってるだろうけど

感度マシマシ設定した毎日の
腔内射精セックスのせいで
本能から淫欲ひき出されて

もう彼女の意思というより
快感におぼれた彼女のカラダが
ち○ぽ求めてきてるみたいだ

他の連中の前では
清楚で可憐な淑女の
麻衣さんが

俺の前では

ぬちゃあ

犯されてるのを
くやしそうに
認識しながらも

自ら激しく腰を振り
淫らに求めているー

あっ

きもちい…っ

あっ

んああっ

あっ

おま〇こ
またイッちゃ…ッ！

やああああん…ッ！

あぶなっかしいんでもう
俺以外には反応しないよう
設定しておこう…

おま〇こお…っ！

あっ

あっ

ズッ
ズッ
ズッ

二週間後—

—こんにちは

好き…!!

好き…!!

あなたのぜんぶが
大好き…!!

本、お好きなんですネ

【雪森 麻衣さんの性交履歴】



膣内射精： 24回

精飲： 8回

絶頂： 33回

失神： 1回

(今日)

+3

+1

+5

+0

カラダの
奥が熱い—

あ、すみません
いつもここで
お見かけしています
から、つい

あなたはわたしのこと
なんて知らないのに

急に声をかけられたら
びっくりしちゃうい
ますよね？

愛してる…!!

あ のっ

も、もし、よかったら
わたしと—

愛してる…!!

ト早

どうしても
意識してしまって…

そ、その—わたし

いつもあなたの
ことを考えると

なぜか胸が
ドキドキして



『わからせアプリ Z』



— あらすじ —

『俺』は気づいてしまった
自分が《時空をかけるおっさん》になってしまっていることに—
そんなことよりナカダシしたい…！

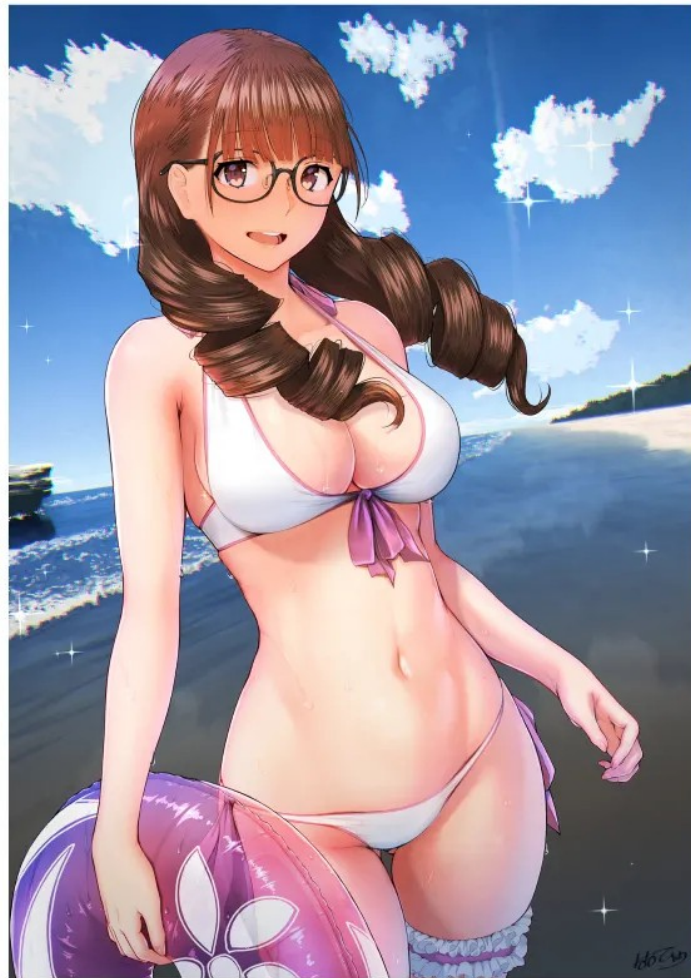
希少なおっさんが《おっさん保護法》に守られた世界で目覚めた俺だったが、
この学園内では女の子と自由にイチャイチャができないというのだ

そして—
Z級の超絶神アプリを手に入れ意気揚々と性欲ライフを満喫しようとする
俺の前に学園からのおっさん追放を画策する生徒会役員たちがあらわれた！

生意気な彼女たちを”わからせる”には

作家：ななひめ
総ページ数 135ページ
モノクロ漫画 60ページ(巻頭カラー17ページ)
カラーイラストその他 69ページ(差分含む)

『おねえさんの気持ち』



— あらすじ —

超少子高齢化の末、激減してしまった若年世代を回復させるため、AIによる性交相手の自動マッチングが先進国の国策として行われていた—はずだったが、

既におっさんである『俺』は、AIにすら全く相手にされないでいた。

そして—

もはや自分にはマッチングなど縁がないと忘れかけていた頃、突然、指定の『交流』施設へ赴くようAIからの連絡が届いたのだが…。

※おねえさんは途中まで睡眠しています。

カラー漫画 16ページ
イラスト 29枚(差分含む)

作家:ななひめ

『メイドさんの気持ち』



— あらすじ —

超少子高齢化の末、AIによる性交マッチングと質の良い精液が求められるようになった世界。性欲を持て余すおっさんである『俺』は、とある公募に参加してみた。なんでも国による新たな『搾精』施設の体験モニタリングらしく、なんと報酬までもらえるらしい。

搾精施設とはいえ、公募内容には女の子とイチャイチャできるような記述もなく、あくまで施設と備品設備に関する使用感をモニタリングするというものだった。ナビに案内されるまま搾精施設とされるお屋敷を訪れた俺を待っていたのは、お人形さんのように可憐なメイドさんだった。どうやら彼女は、家事など身の回りのお世話をしてくれるらしい。

感情の起伏が薄そうな印象の彼女の話聞いてみると
'快感というものを感じたことがない'
ということなのだが—。

カラー漫画 73ページ
イラスト 12枚(本編テキストなし差分)
作家:ななひめ

『おねえさんはナマ配信が好き』



— あらすじ —

元エリートニートであり今では推しへのお布施が生きがいの『オレ』

ある日突然、その‘おねえさん’は隣の部屋へと越してきた—

おねえさんの魅力に抗えなかった『オレ』は
はやくもその日ひとりソロフィーバーをキメてしまうのだが、
あくまでそれは突然の不可抗力によるものでありノーカンである
推しのVタレントへの想いは変わらず健在なのだ

そんな中、推しのヴァーチャルタレント『天御堂ゆりか』に関する
あるひとつの『謎』が持ち上がる—

そして、さらに
憧れのおねえさんと親しくなり、
ちょっとしたはずみが大胆な行動へと駆り立て—

モノクロ漫画 53ページ(巻頭カラー5ページ)

モノクロイラスト 4枚

カラーイラスト 13枚(差分含む)

作家:ななひめ

『おねえさんの^{トショ}図書カツ』

著作者 : 春巻クリスティン
サークル : ななひめ

Fantia(支援窓口) : <https://fantia.jp/fanclubs/126>

pixiv FANBOX : <https://www.pixiv.net/fanbox/creator/54347>

M i s s k e y : <https://misskey.io/@Nanahime>

※この作品はフィクションであり、実在する人物・団体等とは一切関係ありません。

このコンテンツに記録されたデータは著作権法上の保護を受けています。
本コンテンツの一部または全部について著作者からの文書による承諾を得ずに、
いかなる方法においても無断で、複写・複製・加工・配布することを禁じます。

本コンテンツは成人向け作品として適切な処置のもと販売されております。

年齢詐称や非正規手段による入手、又はその他のいかなる事由により、

本コンテンツが、直接または間接的に損害を生じさせても、

著作者は一切の責任は負いません。